

# おおさか 土地改良広報



みどり  
水土里ネット

161  
号

発行：令和6年1月吉日

大阪市北区天神橋2丁目4番15号

(東西線アクセスビル 8階)

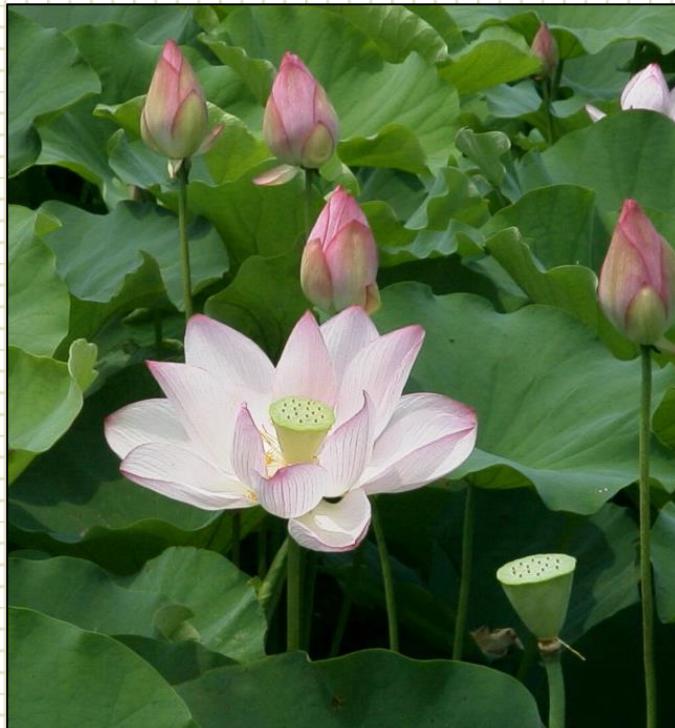
大阪府土地改良事業団体連合会

TEL: 06-6232-8365

FAX: 06-6232-8623

<http://daidoren.com/>

大阪府土地改良事業団体連合会会長挨拶	1
大阪府環境農林水産部農政室 室長挨拶	2
進藤金日子財務大臣政務官挨拶	3
宮崎雅夫全国水土里ネット会長会議顧問挨拶	4
令和5年度第2回監事会	5
令和5年度第2回理事会	5
「農業農村整備の集い」に参加 国会議員へ要望	6
第45回全国土地改良大会福井大会	7
令和5年度 統合整備推進研修（会計研修）	8
令和5年度 換地計画実務担当者研修	9
令和5年度 技術実践向上研修会	9
令和6年度土地改良の予算案について	10
令和5年度 第2回支部担当者会議	11
支部協議会だより	11
土地改良団体における男女共同参画について	12
土地改良相談	14
今後の行事予定	14



「門真れんこん」  
門真市

# 大阪府土地改良事業団体連合会会長 挨拶



大阪府土地改良事業団体連合会  
会長 北島政夫

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また平素は、大阪府土地改良事業団体連合会の運営に、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

この度の元日に発生しました能登半島地震により、亡くなられた方々に心からお悔やみを申し上げるとともに、被災された全ての方々にお見舞いを申し上げます。

さて昨年12月22日、令和6年度政府予算案が閣議決定されました。農業農村整備事業関係の令和6年度当初予算は、4,463億円となり、これに加え防災・減災、国土強靭化のための5か年加速化対策、TPP対策及び食料安全保障対策として、令和5年度補正予算において1,777億円を計上し、これらの総額は、6,240億円となり、厳しい財政状況の中、昨年度を上回る予算が確保されました。

また大阪府におきましても令和6年度の予算確保に向け、今年度を上回る予算を要求して頂いております。

そのような中、国においては、農政の憲法と位置づけられる「食料・農業・農村基本法」について制定から四半世紀を経て初の本格的な改正を行うべく、今次の国会において議論がなされます。不測時の食料安全保障の強化やスマート農業の振興等、新たな農政の展開が期待されます。

今年の干支は、辰であります。「辰」は「竜／龍」に結びついており、十二支で唯一想像上の動物ですが、水を司る水神として日本各地に祭られています。

更に今年は「甲辰」で草木が勢いよく成長すると言われており、農業にとっても縁起の良い飛躍の年と言われております。

連合会といたしましても、国・府と連携を緊密にはかりながら直面する課題に取り組む所存でございますので、引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、今年が会員の皆様にとりまして、輝かしい一年となりますことをご祈念申し上げ、ご挨拶とさせて頂きます。

## 大阪府環境農林水産部農政室室長 挨拶



大阪府環境農林水産部農政室  
室長 丹後 晋哉

謹んで、新年のご挨拶を申し上げます。

はじめに、元日に発生しました能登半島地震により亡くなられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された多くの皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

大阪府土地改良事業団体連合会並びに会員の皆様におかれましては、平素から本府農政の推進に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、国では今後 20 年の変化を見据えて、食料・農業・農村基本法の基本理念や主要施策等の新たな展開に向けた議論を進めているところです。基本理念の方向性では、食料の安定供給を担う生産性の高い農業経営の育成・確保をめざし、農地バンクの活用や基盤整備の推進による農地の集積・集約化に加え、スマート農業をはじめとした新技術の導入等による生産性の向上を実現するとしています。大阪府においては「おおさか農政アクションプラン」（令和 4 年改訂）において、取り組む施策の柱の 1 つとして「力強い大阪農業の実現」を掲げ、成長を支える生産基盤の整備として、農地の集積・集約やスマート農業技術を実装する基盤整備を推進しています。

また昨年 4 月に、改正農業経営基盤強化促進法等が施行され、令和 6 年度末までに、めざすべき未来の農地利用の姿を明確化した地域計画を策定することが市町村・農業委員会に義務付けられました。地域計画は「力強い大阪農業の実現」に資することから、その円滑な策定に向け、本庁や各農と緑の総合事務所への担当職員の配置や、計画策定費用の補助を行うなど支援しているところです。現在は、農地利用意向のアンケートを実施し、その結果の地図化に取り組まれており、来年度は、地域計画の策定に向け、地域の話し合いが本格化します。

これらの取り組みを進め、計画の実現にあたりましては、土地改良区、市町村、並びに貴連合会の皆様とこれまで以上に連携を深めていくことが何よりも重要でございます。引き続きご支援、ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

結びに、大阪府土地改良事業団体連合会の益々のご発展を心からお祈り申し上げご挨拶とさせて頂きます。



全国水土里ネット会長会議顧問  
財務大臣政務官  
参議院議員 進藤 金日子

新年、明けましておめでとうございます。

本年は元旦から能登半島地震が発生いたしました。お亡くなりになられた方のご冥福を心からお祈りいたしますとともにご遺族の皆様にお悔やみを申し上げます。また、被災された皆様にお見舞いを申し上げます。被災地域の復旧、復興に向け、私も全力を尽くしてまいります。皆様のご協力をよろしくお願ひいたします。

大阪府土地改良事業団体連合会の会員の皆様には、旧年中大変お世話になりました。昨年末、財務大臣政務官を拝命いたしました。本年も現場主義、地域主義に徹し、国家の発展と農業農村の振興のため全力を尽くしてまいります。本年もよろしくお願ひ致します。

昨年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、国民の生活も平穏を取り戻しつつあります。一方、ロシアのウクライナへの侵略は昨年も収束せず、10月にはイスラエルとパレスチナの紛争も勃発しました。こうした状況下にあって、エネルギー価格、小麦・とうもろこし等の穀物価格、飼料価格や肥料価格、資材価格等も概して高止まりの傾向にあり、物価上昇が国民生活を圧迫しています。

土地改良予算については、昨年11月に成立した令和5年度補正予算で1,777億円（TPP等対策：760億円、食料安全保障対策：460億円（うち重複300億円）、国土強靭化5か年加速化対策：857億円）が措置され、令和6年度当初予算政府原案の4,463億円と合わせて6,240億円となり、令和5年度予算よりも106億円上回る予算を確保しました。この予算額で各地域において必要な事業を計画どおりに実施可能かどうか、現場の実情をしっかりと精査していく必要があると考えています。

さて、今年の農政における大きな課題は、食料・農業・農村基本法の改正です。政府が昨年6月に決定した「食料・農業・農村政策の新たな展開方向」の具体的な施策の内容について、自民党では昨年9月から「農業基本政策」、「農地政策」、「食料産業政策」の3つの検討分科会を設置し、私も参画して少数のメンバーで議論を重ねました。昨年末には、検討結果を取りまとめ岸田総理へ提言を行うとともに、「食料安全保障強化政策大綱」の改定に当たって提言内容が反映されました。この大綱が本年の通常国会に提出される食料・農業・農村基本法改正案や関連法案、予算制度につながってまいります。

提言は、「食料安全保障の抜本的な強化」、「環境と調和のとれた産業への転換」、「人口減少下における生産水準の維持・発展、地域コミュニティの維持」の観点から構成されており、生産基盤の維持につながる農地の確保、農業生産基盤整備と保全の推進、人材の育成と確保等、今後進めるべき主要施策を具体的に提言しています。

私は、従来から我が国の食料供給力（食料自給力）の強化に当たっては、①農地・農業用水等の農業資源の機能の維持・向上を図る土地改良対策、②農業者を確保・育成する担い手対策、③農業技術の向上を図る試験・研究、普及・生産対策を別々でなくパッケージで早急に実施することが必要と訴えています。

「食料自給力」の最も基礎的なものが「農地・水等の農業資源」であり、農業者の激減が見込まれる中で農地と水の持っている機能を維持・増進する土地改良はこれまでにも増して重要となります。私は、本年も土地改良予算の安定的な確保に努め、法律の整備や制度の拡充等土地改良事業の環境整備を行い、農業農村の振興に向けて更に邁進してまいります。皆様からのご指導とご鞭撻をお願い申し上げ、また、貴連合会のご発展とご繁栄を祈念し、新年のご挨拶といたします。

# 宮崎雅夫全国水土里ネット会長会議顧問 挨拶



全国水土里ネット会長会議顧問  
参議院議員 宮崎 雅夫

元日夕刻に発生した「令和6年能登半島地震」において、尊い命を失われた方々に哀悼の誠を捧げさせていただきます。さらに、被害に遭われ、不自由な避難生活を余儀なくされている皆様には心よりお見舞いを申し上げますとともに、速やかな生活環境の確保・回復と、今後進められる農地・農業用施設を含む被害状況の把握や早期復旧に向けて、私も関係機関等と連携しながらしっかりと対応してまいります。

また、本件地震のほかにも、昨今の激甚化、頻発化する気象災害は、昨年も全国各地で風水害や土砂災害等を発生させ、さらに、夏場の高温や渇水など農業用水の安定供給にも影響を及ぼしています。被災された全ての方々に心よりお見舞い申し上げ、早期復興に皆様とともに力を合わせて対応してまいります。

さて、辰年を迎え、大阪府土地改良事業団体連合会ならびに会員各位、関係の皆様方におかれましては、日頃より地域の重要な資源である水と土を守り、地域農業の発展や農山村の活性化に向け、土地改良事業の円滑な推進、土地改良施設の適切な管理にご尽力いただいておりますことに心から敬意を表しますとともに、私、宮崎雅夫の国政活動に多大なるご支援とご指導を賜り衷心より感謝申し上げます。

私も皆様方から多くのご支援をいただきつつ、現場でお聞きした皆様の声を国政の場で発信し、また、たくさんのご要望等に対しても、それぞれの地域事情に即した解決策等に向け、全力で対応してまいったところであります。昨年11月に成立した令和5年度補正予算では、土地改良関係として、昨年度の補正予算から100億円増の1,777億円（食料安全保障強化対策160億円、総合的なTPP等関連対策760億円、防災・減災・国土強靭化対策857億円）を確保できました。この中には、皆様方から強いご要望があった土地改良施設にかかる電力料高騰分の7割を支援する制度を4月まで延長する対策も含まれています。加えて、12月に閣議決定した令和6年度当初予算案では、前年を上回る4,463億円が計上され、補正と合わせた総額は6,240億円となっております。これから行われる通常国会において早期成立に向け、参院予算委の理事として努力してまいります。

さらに、来る通常国会では、「農政の憲法」とも言われる「食料・農業・農村基本法」を四半世紀ぶりに改正する予定であり、我が国の食料安全保障のあり方や環境に配慮した農業・食品産業の推進、人口減少社会での食料供給基盤の強化等についてしっかりと議論を進め、基本法に位置付けていく必要があります。さらに土地改良が担う重要な役割としての農地や水利施設等の整備・保全管理を含め、農業従事者数の減少傾向に対応するスマート農業等の取組推進や農業農村関係人口の拡大など、土地改良区の運営基盤の強化を図っていくことが重要です。

私も、引き続き「食・土地改良・農山漁村は未来への礎」を基本理念に、現場や地域の課題をしっかりとお伺いし、皆様のお声を国政に届け、必要な予算の確保や制度の充実に向け、鋭意努力してまいる決意ですので、引き続きのご指導とご支援を賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。

結びに、大阪府土地改良事業団体連合会ならびに会員各位、関係の皆様の益々のご発展とご健勝を心より祈念申しあげ新年の挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

## 令和5年度 第2回 監事会



令和5年11月15日（水）に本会会議室において本会規約第25条第2項に基づき、第2回監事會を開催いたしました。

勝間代表監事、阪口監事出席のもと、大阪府からは農政室整備課の長谷課長補佐が立ち会われ、議案はすべて原案通り承認されました。

また、令和5年度第2回理事会には勝間代表監事が出席し報告することになりました。

### 〔議 案〕

第1号議案「令和5年9月30日現在の業務執行状況及び会計経理監査の結果の承認について」

第2号議案「令和5年度一般会計収支補正予算の規約第45条に基づく承認について」

## 令和5年度 第2回 理事会



令和5年11月29日（水）、アートホテル大阪ベイタワーにおいて本会定款第24条に基づき、令和5年度第2回理事会を開催いたしました。

北島会長の挨拶に続き、大阪府からは農政室整備課杉田課長から挨拶をいただき、議事に入りました。

理事会では、理事本人出席11名、理事本人欠席3名のもと審議が行われ、議案はすべて原案のとおり承認・議決されました。

### 〔議 案〕

第1号議案「令和5年9月30日現在の業務執行状況及び会計経理監査の結果報告等について」

第2号議案「令和5年度一般会計収支補正予算規約第45条にもとづく専決処分について」

## 「農業農村整備の集い」に参加 国会議員へ要望



令和5年11月7日（火）に、令和6年度当初予算の確保に向けて、全国の土地改良関係者が一堂に集い、国会議員、農林水産省、財務省などに対し、予算確保の要請を行う「農業農村整備の集い」が、シェーンバッハ・サボーにおいて、全国から多くの関係者が参加し、開催されました。

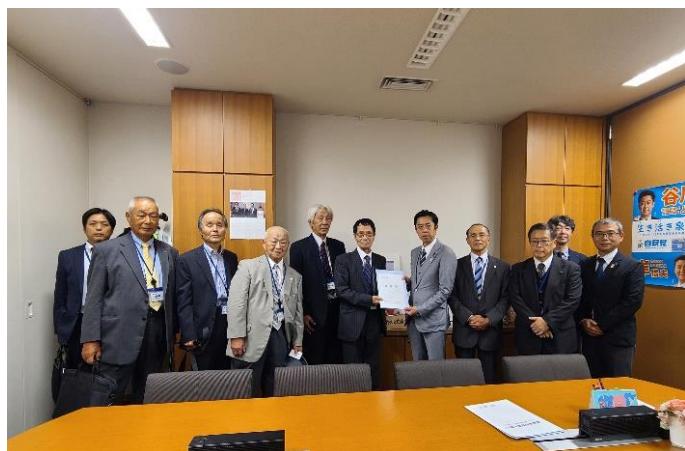
本会からは、北島会長をはじめ理事や土地改良区職員等10名参加し、大阪府からは杉田農政室整備課長他1名が参加しました。

集いには、二階全土連会長、進藤参議院議員、宮崎参議院議員、大阪府選出の国会議員など、全国の国会議員が参加され、二階会長から主催者挨拶、次に宮下一郎農林水産大臣、進藤会長会議顧問などの方々が来賓祝辞を述べられました。

10項目からなる要請書を全会一致で採択しました。

最後に、全国水土里ネット女性の会の根本由紀子会長による「ガンバロウ」三唱の発声後、一同の盛大な拍手で閉会となりました。

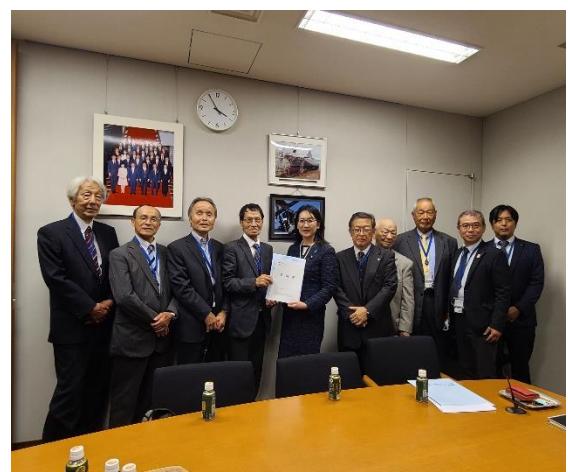
終了後、本会と大阪府の合同で、国会議員への要望とし、大阪府選出の谷川とむ衆議院議員、太田房江参議院議員、松川るい参議院議員へ要望活動を展開しました。



谷川とむ衆議院議員へ要望書手交及び要望面談



太田房江参議院議員へ要望書手交及び要望面談



松川るい参議院議員へ要望書手交及び要望面談

# 第45回 全国土地改良大会（福井大会）

## 寺西 平四郎様 全国土地改良事業団体連合会会長表彰受賞



令和5年10月11日、第45回全国土地改良大会福井大会が「サンドーム福井」において、全国土地改良事業団体連合会と福井県土地改良事業団体連合会の主催により、全国から土地改良関係者が約4,000名集まり盛大に開催されました。本会からは、66名が参加しました。

式典では、福井県土地改良事業団体連合会の山崎正昭会長の開会挨拶で大会が始まり、次に、主催者を代表し全国土地改良事業団体連合会の二階会長の挨拶を義經賢二副会长が代読され、杉本達治福井県知事を始め、山田越前市長、佐々木鯨江市長の歓迎のことば、武村農林水産副大臣を始め、福井県選出国会議員の稻田衆議院議員、進藤金日子全国水土里ネット会長会議顧問・宮崎雅夫全国水土里ネット会長会議顧問による来賓祝辞がありました。

その後、土地改良事業功績者表彰が行われ、農林水産大臣表彰6名、農林水産省農村振興局長表彰16名、全国土地改良事業団体連合会会長表彰44名の受賞者が紹介されました。

大阪府からは、茨木市藏垣内土地改良区の寺西平四郎様が全国土地改良事業団体連合会会長表彰を受賞されました。

功績者表彰式の後、青山農林水産省農村振興局次長による基調講演、優良事例紹介等が行われました。

最後に「水土里（みどり）がある幸せ（しあわせ）がある笑顔がある～ふくいで語る土地改良の未来～」のスローガンのもと大会宣言が行われ、次期開催地千葉県を紹介、大会旗引継後、閉会挨拶を行い盛会裡に幕を閉じました。



大阪府土地改良事業団体連合会 前理事  
茨木市藏垣内土地改良区 監事  
寺西 平四郎 様

# 令和5年度統合整備推進研修（会計研修）

令和5年11月2日（木）に、アートホテル大阪ベイタワー3階会議室において、全国土地改良事業団体連合会主催による、令和5年度統合整備推進研修（会計研修）会が行われました。

本研修は、土地改良法の改正により、令和4事業年度から、原則として土地改良施設を管理する全ての土地改良区が貸借対照表の公表を義務化されたことに伴い、昨年に引き続き土地改良区の会計担当者を対象として、会員土地改良区等約90名が参加しました。

## 内容

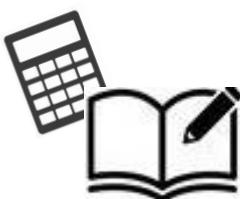
- 「財務諸表等の作成手続きについて」
- 「財務諸表等を活用した財務分析の方法」



全国土地改良事業団体連合会  
市村支援部長



青山専務理事挨拶



全国土地改良事業団体連合会  
金内主査

## 令和5年度換地計画実務担当者研修



令和5年10月27日（金）、午前9時30分から、本会9階会議室において、令和5年度換地計画実務担当者研修を、農地中間管理機構関連農地整備事業の実施地区を担当している市町村職員、府職員を対象に15名の参加の下開催しました。

研修会は、「豊能町高山地区の換地計画策定について」豊能町 都市建設部 淨住理事から、高山地区の貴重な事例を紹介していただき、続いて（一財）大阪府みどり公社 石田事務局次長より「農地中間管理事業における機構の役割」について、午後からは大阪府 環境農林水産部 農政室整備課計画指導グループ 上田総括主査による「換地計画の認可のポイント」について、それぞれご講義を賜りました。

又、今回は近畿で機構関連事業を先進して実施されている兵庫県土地改良事業団体連合会 事業部 地籍換地課の倉田担当課長をお招きし、兵庫県における機構関連事業の進め方についてご講義をいただき、その後は意見交換会として、各受講者と活発な意見交換がなされ、盛会の内に研修会は終了いたしました。

## 令和5年度 技術実践向上研修会



大阪府環境農林水産部農政室  
木内課長補佐

令和5年度技術実践向上研修会を令和5年12月5日（火）午後2時から大阪赤十字会館において、65名参加のもと開催しました。

青山専務理事挨拶の後、大阪府環境農林水産部農政室推進課木内課長補佐より「地域計画の策定による大阪農業の成長産業化について」、神安土地改良区工務課藤井主査、和田技師より「土地改良施設の長寿命化の取り組み事例について」、丸島産業（株）赤松技術部長より「小規模ゲートの点検・維持管理について」、それぞれご講演いただきました。

ご講演の後、質疑・応答など会員の活発な意見交換が行われました。



神安土地改良区  
藤井主査（右）  
和田技師（左）



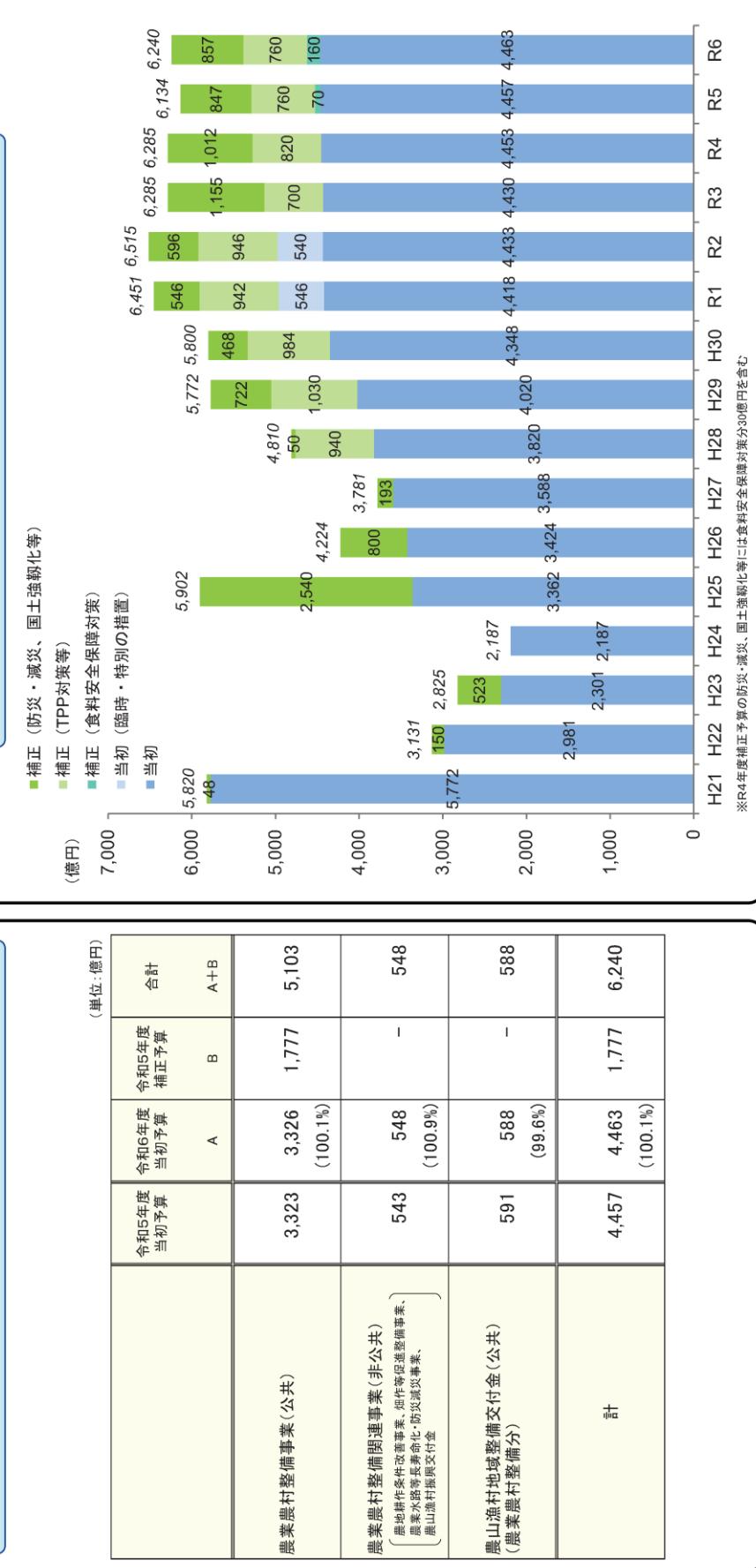
丸島産業（株）赤松技術部長

## 令和6年度 農業農村整備事業関係予算 概算決定

- 農業農村整備事業関係予算の令和6年度当初予算は4,463億円(対前年度比100.1%)。
- また、防災・減災、国土強靭化のための5か年加速化対策、TPP対策及び食料安全保障対策として、令和5年度補正予算において1,777億円を計上し、これらの総額は6,240億円。

### 令和6年度予算等

#### 農業農村整備事業関係予算の推移



注：計数は四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがある。

## 令和5年度 第2回 支部事務担当者会議

日 時：令和5年12月7日(木) 午後3時30分～午後5時00分

場 所：大阪府土地改良事業団体連合会 会議室

議 題

- (1) 表彰者の推薦について
- (2) 第45回全国土地改良大会の精算について
- (4) 農空間保全活動支援事業について
- (5) 研修会等今後の予定について
- (6) 支部に関するお願い
- (7) 役員の補選について
- (8) その他

令和5年度第2回支部事務担当者会議を、支部の事務担当者が出席して開催いたしました。本会から、役員の退任に伴う役員候補者の選任及び銓衡委員候補者の推薦、表彰者の推薦、第45回全国土地改良大会の精算等について説明、続いて今後の行事予定並びに研修会等の案内を行い、多数参加に向けての協力の依頼を行いました。

## 支部協議会だより

### 三島支部

令和5年度第1回支部協議会を、令和5年9月15日(金)に、神安土地改良区において開催し、令和4年度収支決算が承認されました。本会からは、青山専務理事が出席しました。

令和5年11月21日(火)～22日(水)に、支部の管外研修会として愛知県「牟呂用水土地改良区」の現地視察を行いました。この研修には、本会の青山専務理事が参加しました。

### 泉北支部

令和5年11月22日(水)に、支部の管外研修会として和歌山県「水土里ネット南紀用水」の現地視察を行いました。この研修には、本会の青山専務理事が参加しました。

### 泉南支部

泉佐野市土地改良事業団体連絡協議会の令和5年度視察研修会として、令和5年10月7日(金)に、京都府「丹波篠山市役所」の現地視察を行いました。この研修には、本会の青山専務理事が参加しました。

支部の研修会として、令和5年11月8日(水)に、京都府亀岡市の「近畿農政局 亀岡中部農地整備事業所」の現地視察を行いました。この研修には、本会の青山専務理事が参加しました。

### 大阪支部

令和5年12月22日(金)に、大阪市土地改良協会の役員会が大阪市天王寺区「天王殿」において開催されました。本会からは、青山専務理事が出席しました。

# 土地改良団体における男女共同参画について

今、はじめる。まずはあなたの土地改良区から—

いざ、スタート。2025年度に向けて—  
この町の土地改良は、みんなで支え合う



女性理事  
登用

2025年度までに  
女性理事が占める割合を0.6%→10%以上に！

農業・農村の振興を支えてきた土地改良を、次世代につなげることが我々の役目です。現代社会を生き抜くために、土地改良を担う組織にはいろいろな人材の参画が必要です。土地改良の新たな発展へ、共に進んでいきましょう。

## 成果目標

全国の土地改良区（土地改良区連合を含む）において、2025年度までに女性理事が登用されていない組織数をゼロに。理事に占める女性の割合を10%以上に。

計画：第5次男女共同参画基本計画（2020.12）、  
土地改良長期計画（2021.3）

## 組合員だけでなく、員外理事でもOK

組合員からの登用が難しい場合、員外理事制度も活用できます（定款に定めれば理事定数の5分の2まで可能）。組合員のご家族、会計士、6次産業や町内会に携わっている方、他にも農業団体で役員を務めている方などの参画が期待できるのではないかでしょうか。



女性職員  
登用

## 働く場を、再点検

これを機に、土地改良事業団体連合会も含め、改めて働く環境を見つめませんか？無意識の思い込み（お茶入れや電話取り次ぎは女性、外業は男性など）はありませんか？育児・介護制度の整備、技術や資格取得のフォローなど、できるところから改善を。誰もが活躍できる、そして人と地域に優しい土地改良へ。



全国水土里ネット・都道府県水土里ネット

いざ、スタート。  
2025年度に向けて—



女性理事登用

2025年度までに  
女性理事が占める割合を10%以上に！

現在  
0.6%

農業・農村の振興を支えてきた土地改良を、次世代につなげることが我々の役目です。現代社会を生き抜くために、土地改良を担う組織にはいろいろな人材の参画が必要です。土地改良の新たな発展へ、共に進んでいきましょう。

成果目標

全国の土地改良区（土地改良区連合を含む）において、2025年度までに女性理事が登用されていない組織数をゼロに。理事に占める女性の割合を10%以上に。

引出：第5次男女共同参画基本計画（2020.12）、  
土地改良無形計画（2021.3）

組合員だけでなく、員外理事でもOK

組合員からの登用が難しい場合、員外理事制度も活用できます（定款に定めれば理事定数の5分の2まで可能）。組合員のご家族、会計士、6次産業や町内会に携わっている方、他にも農業団体で役員を務めている方などの参画が期待できるのではないでしょうか。



全国水土里ネット・都道府県水土里ネット

女性職員登用

働く場を、再点検

これを機に、土地改良事業団体連合会も含め、改めて働く環境を見つめませんか？無意識の思い込み（お茶入れや電話取り次ぎは女性、外業は男性など）はありませんか？育児・介護制度の整備、技術や資格取得のフォローなど、できるところから改善を。誰もが活躍できる、そして人と地域に優しい土地改良へ。



## 土地改良相談

当連合会では、会員の方々が行う土地改良事業や土地改良区運営に関する事項について定期的に窓口を開設し、相談をお受けしています。

窓口開設日：毎月 5 日・20 日（休日の場合はそれぞれ開設日以降の直近の平日）

尚、急を要するご相談や、弁護士や公認会計士等専門的アドバイスが必要な場合のご相談も随時お受けいたしておりますので、お気軽にご相談下さい。



## 今後の行事予定

2月	<ul style="list-style-type: none"><li>8日 令和5年度支部担当者等研修会</li><li>13～14日 ため池管理者研修（大阪府泉州農と緑総合事務所管内）</li><li>15日 令和5年度換地計画実務担当者研修</li><li>15日 第3回 監事会</li><li>16日 ため池管理者研修（大阪府中部農と緑総合事務所管内）</li><li>19日 ため池管理者研修（大阪府南河内農と緑総合事務所管内）</li><li>22日 第3回 理事会</li><li>26日 ため池管理者研修（大阪府北部農と緑総合事務所管内）</li></ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"><li>1日 令和5年度第1回多面的機能支払交付金研修会</li><li>22日 第66回 大阪府土地改良事業団体連合会 通常総会</li><li>26日 第66回 全国土地改良事業団体連合会 通常総会</li></ul>



# 第46回全国土地改良大会は千葉県で開催されます



第46回全国土地改良大会は、「ふさの国から飛び立て 水土里の恵み 力強く未来に繋ごう 水土里の礎」をテーマに農業農村整備に携わる関係者が一堂に介し、新たな農業・農村の展開方向に即して、農業農村整備の重要性と、それを下支えする「水土里ネット」の役割を再認識し、関係者皆様の意識の高揚と、我が国の農業・農村の更なる発展を目的として千葉県で開催されます。

## 大阪府土地改良事業団体連合会 事務所案内 ( 水土里ネット大阪 )

〒530-0041

大阪市北区天神橋2丁目4番15号  
東西線アクセスピル8階

TEL : 06-6232-8365

FAX : 06-6232-8623

水土里ネット大阪 は  
大阪府土地改良事業団体連合会の  
愛称です



最寄り駅 大阪メトロ谷町線・堺筋線 「南森町」 駅よりすぐ

J R東西線 「大阪天満宮」 駅よりすぐ